

新領域「学融合ビジュアライゼーションスクエア」が平成 24 年度加速器科学総合支援事業「大学等連携支援事業」として採択

高エネルギー加速器研究機構 KEK は、大学共同利用機関として、我が国の加速器科学の総合的発展の拠点として国内外の研究者に対して研究の場を提供することを目的とした平成 24 年度加速器科学総合支援事業「大学等連携支援事業」の 1 つに、新領域創成科学研究科研究ユニット学融合ビジュアライゼーションスクエア（Transdisciplinary Visualization Square (TV-Square: TV-s)）を採択しました。採択事業名は、「学融合ビジュアライゼーション連携教育プログラム」です。

事業概要：

「可視化」をキーワードとした広域研究領域において、KEK と連携し先端的融合大学院教育を進め、学融合「可視化」学なる新しい学問領域を通して実践的な教育を実現します。東京大学大学院新領域創成科学研究科基盤科学研究系においては、3 年前から、物質系専攻、先端エネルギー工学専攻及び複雑理工学専攻における研究領域を出発点とし、関連する大型研究実験施設を積極的に活用し、徹底した次世代リーダー育成のための実践教育を行うことを目的に「基盤科学領域創成研究教育プログラム」がスタートしています。このプログラムでは「可視化」技術と最新データ処理法を活用でき、かつ大型プロジェクトを先導できる次世代リーダーの少数精鋭の育成が目標です。本事業においては、実験科学と数理科学との学融合を通し、生きた実践先端科学の臨場感を伝えるために、その現場の 1 つである KEK と連携して、講義講師等の相互交流、大学院教育へのインターンシップ導入、若手国内研究会開催等を行い、次世代加速器利用科学を日本が世界と今後の競争において打ち勝つために正しい方向へ先導できるリーダー的研究者及び技術者を育成します。

今後 KEK と色々な連携を進める予定で、6 月程度に大学院生が参加できる色々な募集を開始します。

関連 Web:

<http://legacy.kek.jp/intra-j/shienjigyo/daigakurenkei.html>

研究科担当：

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/crets/>

佐々木裕次 新領域・基盤科学・物質系専攻・教授

岡田真人 新領域・基盤科学・複雑理工学専攻・教授

鈴木宏二郎 新領域・基盤科学・先端エネルギー工学専攻・教授